

# CLT 低層住宅 「CLTHUT PROJECT」 見学会

■日時：2018年9月25日(火) 13:00~15:00

※送迎バスご利用の場合 11:00 集合(木のいえ一番協会) ¥4,000 軽食付き

■会場：山梨県南都留郡山中湖村平野 3764-1 <フェザント山中湖>内

■主催：**木のいえ一番!** 一般社団法人 木のいえ一番協会

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素はご厚情にあずかり、まことにありがとうございます。

さて、この度、木のいえ一番協会（東京都渋谷区、会長：二木浩三）においてCLT を建物外部の現しに使用した低層住宅で施工技術や室内環境、居住性、経年変化などを継続的に検証していくプロジェクトとして進めておりました、国土交通省「平成28年度サステナブル建築物等先導事業」の補助を得て、CLT低層住宅の実験棟「CLTHUT」が山梨県南都留郡山中湖村に完成しました。

つきましては、様々ご協力をいただきました協会員の方々に、実験棟をご披露するとともに、その狙いや可能性について、現地で発表させていただきたく見学会を開催いたします。

「木のいえ」のさらなる可能性の拡大に向けて新たな取り組みについて、ご支援、ご理解をいただきたく、ご多忙中とは存じますが、送迎バスもご用意しておりますので是非ご利用いただき、何卒ご出席賜りますようお願い申し上げます。

清々しい山中湖畔で、本物の「木のいえ」をご体感いただけましたら幸いです。

敬具

**木のいえ一番!**

木のいえ一番協会

事務局長：酒井 歩

TEL：03-5790-6360

FAX：03-5790-6361

MAIL：info@kinoie-1ban.or.jp

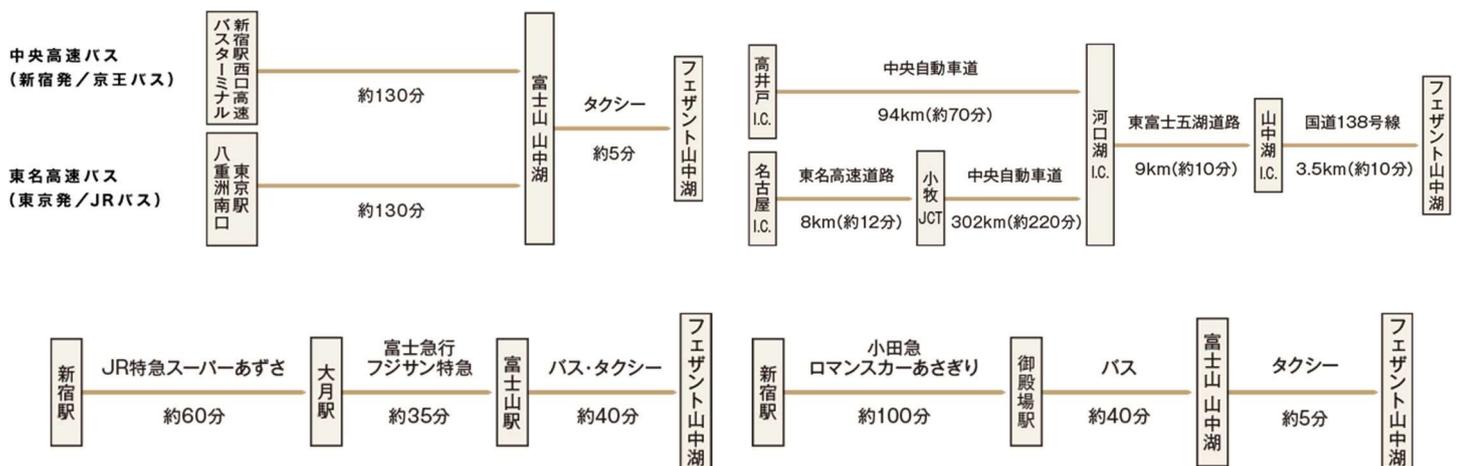
# CLT 低層住宅「CLTHUT PROJECT」 見学会 開催概要

日程	2018年9月25日(火)
会場	山梨県南都留郡山中湖村平野 3764-1 <フェザント山中湖>内
内容	「CLT 低層住宅」実験棟の見学・プロジェクト説明
スケジュール	10:45 集合 木のいえ一番協会 (東京都渋谷区神泉町 22-2 神泉風来ビル内) 11:00 送迎バス 出発 13:00 到着   見学 ・ プロジェクト説明 15:00 送迎バス 出発 17:00 到着 木のいえ一番協会 → 解散

■会場 フェザント山中湖 山梨県南都留郡山中湖村平野 3764-1 現地 TEL:0555-20-2888



■アクセス (高速バス、高速道路、JR線、小田急線)



■お問い合わせ 木のいえ一番協会 原子 TEL:03-5790-6360

木のいえ一番協会 行

**fax:03-5790-6361**

**e-mail : info@kinoie-1ban.or.jp**

## CLT低層住宅 見学会 ご出欠確認書

<input type="checkbox"/> ご出席 <input type="checkbox"/> ご欠席	
ご芳名	
御社名	
e-mail	
お電話番号	※当日ご連絡可能な番号をご記入ください。
送迎バス利用	<input type="checkbox"/> 利用(¥4,000 ※軽食付き) <input type="checkbox"/> 利用せず直接 いずれかに✓チェックをお願い致します

※9月14日までにfaxまたはメールにてご返信くださいますよう、お願い申し上げます。



送迎バス 木のいえ一番協会(神泉) ↔ 現地会場

**集合場所: 東京都渋谷区神泉町22-2 神泉風来ビル**

集合場所から現地まで送迎バスを運行いたします。ご希望の方は上記にてお申込みください。

【往路】 11:00 木のいえ一番協会出発 → 13:00 フェザント山中湖到着

※車内にて軽食をご用意いたします。

【帰路】 15:00 フェザント山中湖出発 → 17:00 木のいえ一番協会着

※時間は交通事情により前後します。渋滞も予想されますことなど予めご了承ください。

※バス発着場所、その他のアクセスなどは、別紙をご参照ください。

【お問い合わせ】

木のいえ一番協会 tel.03-5790-6360 (担当:酒井・原子)

# CLT低層住宅「CLTHUT PROJECT」について



## ■「CLTHUT PROJECT」概要

国土交通省「平成28年度サステナブル建築物等先導事業」の補助を得て、CLT低層住宅における技術開発を目的とした実験棟を建設するプロジェクトです。今後は、小規模・現し設計に適した設計手法・接合部の開発、コストダウン開発、経年変化の検証、温熱環境測定などの技術的な開発を実施すると同時に、体験宿泊など木のいえの暮らし方についての研究にも役立てていきます。

※ 国土交通省「平成28年度サステナブル建築物等先導事業」とは？

国土交通省が木造建築物等に係る技術の進展に資するとともに普及啓発を図ることを目的とし、先導的な設計・施工技術が導入される大規模な建築物の木造化・木質化を実現する事業計画の提案を公募し、優れた提案に対し、国が当該事業の実施に要する費用の一部を補助を行う制度。

※ CLTとは？

CLTとはCross Laminated Timberの略称で、ひき板(ラミナ)を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料です。厚みのある大きな板であり、建築の構造材の他、土木用材、家具などにも使用されています。CLTの利用は近年になり各国で急速な伸びを見せ、特に木材特有の断熱性と壁式構造の特性をいかして戸建て住宅の他、中層建築物の共同住宅、高齢者福祉施設の居住部分、ホテルの客室などに用いられています。

日本では2013年12月に製造規格となるJAS(日本農林規格)が制定され、2016年4月にCLT関連の建築基準法告示が公布・施行されました。

これらにより、CLTの一般利用がスタートしています。

## ■「CLTHUT PROJECT」デザインの特徴

建築家:山中祐一郎氏によるデザイン

建設地は富士山山中湖の北側にある丘の上に位置し、国産杉間伐材を原材料とするCLTを用いた実験的な建築プロジェクト。壁・床・屋根すべてをCLTパネルで構成し、当協会が独自に開発を行った隠蔽型接合金物を使用することで、内部・外部とも現し仕上げとしています。構造に加え、階段・キッチン・ドアなど、インテリアにもCLTパネルを活用し、CLTパネルが持つ木質感により、開放的、かつ、温かく心地よい雰囲気を持った空間を表現しています。



山中祐一郎プロフィール

建築家。1994年東京造形大学卒業後、渡英。  
Architectural AssociationでShin Egashiraに師事。  
1996年内藤廣建築設計事務所勤務。  
1999年S.O.Y.建築環境研究所/S.O.Y.LABOを設立。  
建築設計をベースとして、ランドスケープからプロダクトデザイン、アプリ開発まで、領域を超えてデザイン活動を展開。

事業者:木のいえ一番協会

意匠設計:山中祐一郎(S.O.Y.建築環境研究所)

構造設計・技術協力:株式会社エヌ・シー・エヌ、CLT製造・加工:銘建工業株式会社

施工:株式会社ビ・ボン、協力:株式会社アールシーコア、一般社団法人日本CLT協会、株式会社ディートレーディング、日本ベルックス株式会社、プレイヤーホームズ株式会社、株式会社LIXIL、株式会社メス、三井化学産資株式会社、ターナー色彩株式会社、大阪ガスミカル株式会社、ミュールハウスエンジニアリング株式会社、積水マテリアルソリューションズ株式会社



**木のいえ一番!**